

## 【草花の部屋】

シレネ・ブルガリス(ナデシコ科マンテマ属 *Silene vulgaris*)

**和名**：シラタマソウ(白玉草) **別名**：フウリンカ(風鈴花)、フクロナデシコ

**英名**：Bladder Campion

ナデシコ目 宿根草 **原産地**：ヨーロッパアルプス

**花言葉**：上品、聡明

**花の色**：白



← 写真-1 シレネ・ブルガリス  
撮影日：2016年06月02日  
撮影場所：エトルタ(フランス)にて  
撮影者：M さん



→ 写真-2 シレネ・ブルガリスの花  
撮影日：2016年06月02日  
撮影場所：エトルタ  
(フランス)にて  
撮影者：M さん



← 写真-3 シレネ・ブルガリスの花  
撮影日：2015年07月14日  
撮影場所：シーニゲ・プラッテ  
高山植物園(スイス)にて  
撮影者：M さん

エトルタは、アヴェルの崖とアモンの崖に挟まれた街。かつて、モネやクールベが何度も描いたという白亜の断崖やルパンシリーズの「奇岩城」のモデルになったと言われている針岩、怪盗ルパンの家と称される作家モーリス・ルブランの家がある街です。

アモンの崖に続く遊歩道を歩いていると、その脇に咲いていました。飯蛸(イダコ)を思い浮かべてしまいました。

シーニゲ・プラッテ高山植物園内を散策中にも見かけていました。花後のようです。シーニゲ・プラッテ高山植物園(アルペンガーデン)は、標高約 1950m から 2000m の山岳地帯に約 600 種類もの高山植物が、その植物が本来、生息している環境(岩山、ガレ場、草原など)をできる限り再現した植栽にしているそうです。散策路も整備され、ちょっとしたトレイルも兼ねたような高山植物園。1893 年に開通した伝統の登山鉄道で、高低差 1383m のルートをゆっくりと上った所がありました。車窓からアルプスの山々や、眼下にインターラーケン、トゥーン湖、ブリエンツ湖の眺望も楽しめました。